

令和4年度 決算状況

決算に基づく本市の状況は次のとおりです。

1003365

※金額は万円単位に端数処理しています 問合せ 財政課財政係 ☎内線 4042

各会計の決算額

一般会計及び特別会計

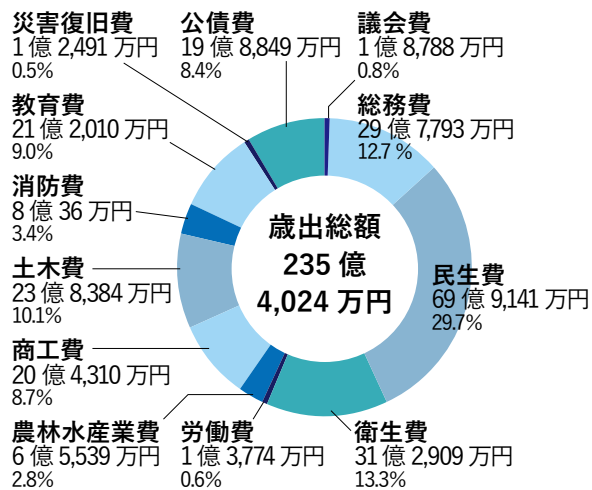
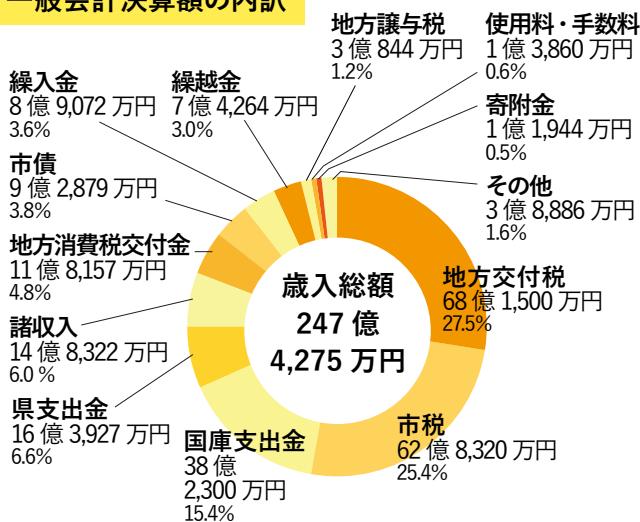
会計区分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	247 億 4,275 万円	235 億 4,024 万円
特別会計		
国民健康保険	56 億 3,622 万円	55 億 8,726 万円
後期高齢者医療	6 億 8,956 万円	6 億 8,899 万円
介護保険	63 億 1,016 万円	60 億 9,309 万円
電気事業	2,629 万円	1,907 万円

公営企業会計（独立採算の会計）

区分	収入	支出
水道		
収益的収支	3 億 7,772 万円	3 億 5,889 万円
資本的収支	0 万円	1 億 7,662 万円
簡易水道		
収益的収支	5 億 2,772 万円	5 億 2,199 万円
資本的収支	3,040 万円	9,086 万円
下水道		
収益的収支	13 億 2,829 万円	12 億 9,642 万円
資本的収支	4 億 8,144 万円	9 億 4,724 万円

※資本的収入額が支出額に対して不足する額は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額などで補てん

一般会計決算額の内訳



市民 1 人あたり
歳入 550,806 円
歳出 524,036 円
44,921 人 令和 5 年 3 月 31 日時点



1 世帯あたり
歳入 1,200,813 円
歳出 1,142,453 円
20,605 世帯 令和 5 年 3 月 31 日時点

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率・資金不足比率

健全化判断比率について、実質赤字額および連結実質赤字額はありませんでした。また、実質公債費比率および将来負担比率は、早期健全化基準を下回りました。

健全化判断比率（単位：％）

区分	実質赤字比率 福祉、教育、まちづくりなど市町村の行政事務本体における赤字の程度を示す指標	連結実質赤字比率 全ての会計の赤字と黒字を合算し、赤字額が黒字額を上回る場合にその程度を示す指標	実質公債費比率 公債費およびこれに準ずる経費の大きさを示す指標	将来負担比率 翌年度以降において負担することが確定している債務および負担が見込まれる債務の大きさを示す指標
本市の指標	赤字額なし		6.5	55.0
早期健全化基準	12.85	17.85	25.0	350.0

資金不足比率 公営企業の資金不足額の程度を示す指標

公営企業会計（水道事業会計、簡易水道事業会計、下水道事業会計、電気事業特別会計）に、資金不足額は生じませんでした。



健全化判断比率および資金不足比率は、基準を下回っていますが、本市の財政を取り巻く状況は依然として厳しく、今後もより健全化に向けた財政運営に努めます。